

街区表示板点検・取替作業



パソコン部品解体作業



個別支援プログラム (外出行事)



個別支援プログラム (調理実習)



「はばたき開所 20 周年にあたり」

就労継続支援 B 型事業所「はばたき」は、おかげさまで開所 20 周年を迎えることとなりました。これまでの 20 年間、地域の皆様、企業や関係機関の皆様、ご家族及び「こうよう親の会」の皆様方にお力添えをいただき、事業を継続することができましたことに深く感謝いたします。

また、近隣・地域の皆様には、利用者の通所途中やメール便配達などの作業中にも声を掛けていただくことがあり、顔の見える関係の中で安心して活動することができました。

同じく、毎年恒例となっています桜岡小学校での夏祭り「縁日と映画の夕べ」では、フライドポテト販売の模擬店を出店し、地域交流の場に参加をさせていただき、近年では、港南区社会福祉協議会を介して桜岡小学校の福祉委員会の生徒さんたちとの交流も始まりました。

このように、地域との関りを持たせたことで、20 周年を迎えられたのだと改めて感じています。地域の皆様、地域との架け橋を作っていただいた関係各所の皆様に重ねて感謝いたします。

さて、「はばたき」は、平成 12 年 4 月に横浜市の地域作業所として開所しました。卒業後の進路先に福祉的就労の場として利用される方の他、一般企業で就労した方が退職後に利用されるケースも多くありました。当時の運営は、利用者の家族会となる「はばたきファミリークラブ」をはじめ、多くのボランティアの方々にも支えていただいたと聞いています。

平成 15 年 4 月には、「措置から契約へ」と障害福祉施策の大きな節目を迎え、障害のある方の自己決定を尊重し、自己実現を支援するために、「契約によるサービス利用」利用者本位の考え方となりました。

そのため、利用者支援とはどのようなものなのか、どのように利用者に向き合うのかと、当時、職員間で試行錯誤を重ねたことを思い出します。職員が実践する支援の一つひとつが、利用者の将来に様々な影響を与えることを再認識し、支援者としての責任もより大きくなることを実感して日々の支援にあたりました。利用される方にとっても、変わりゆく制度に対応していくことには、ご苦労があったかと思えます。

調理作業



野菜たっぷり弁当販売会 (於：港南区役所)



電子部品組立 (各種内職) 作業



布小物加工作業 (マスク他)

関内駅周辺歩道清掃



就労継続支援 B 型事業所 はばたき 所長 松丸 誠司